

# 環境

## サマリー

### 基本的な考え方

地域および地球規模の環境保全是、エネルギービジネスを中心に事業展開するDaigasグループにとって極めて重要な使命です。我々のあらゆる活動が環境と深くかかわっていることを認識し、気候変動をはじめとする環境問題に対応し、革新的な技術の開発と普及を推進し、エネルギーのカーボンニュートラル化を最重要課題として取り組むとともにエネルギーや原材料等の資源の高度利用に取り組みます。

2017年3月には、2030年度に目指す姿をまとめた「長期経営ビジョン2030」「中期経営計画2020」を発表し、天然ガスの普及拡大、燃料電池等の高効率機器の開発・普及、省エネルギー提案、再生可能エネルギーの導入等を積極的に進めてきました。2021年1月には「Daigasグループカーボンニュートラルビジョン」を、同年3月には「中期経営計画2023」を発表し、これまでの天然ガス利用拡大の取り組みに加えて、再生可能エネルギーや水素を利用したメタネーション<sup>※</sup>などによる都市ガス原料のカーボンニュートラル化および再生可能エネルギー導入を軸とした電源のカーボンニュートラル化によって、2050年のカーボンニュートラル実現を目指すことを示しました。

2023年3月には、「Daigasグループ エネルギー転換2030(ET2030)」を公表し、エネルギーのカーボンニュートラル化への移行に向けた道筋の全体像と、2030年に向けた当社グループの具体的な取り組みやお客さまにご提供できるソリューションをとりまとめ、ステークホルダーの皆さまにご提示しました。

2024年3月には、「中期経営計画2026」を発表し、2050年のカーボンニュートラル実現に向けたトランジション期の貢献とカーボンニュートラル社会への加速に向けた土台構築を進める期間として位置づけ、重点戦略を示しました。

なお、「気候変動」は「中期経営計画2023」においてマテリアリティの一つに位置づけています。また「中期経営計画2026」においては、「エネルギーのカーボンニュートラル化」をマテリアリティの一つに位置づけ、カーボンニュートラル実現へ取り組みを加速させていきます。

※水素とCO<sub>2</sub>から都市ガス原料の主成分であるメタンを合成する技術

### 具体的な取り組み

#### 方針・推進体制

中長期で掲げた環境分野でのビジョン・施策・目標の実現に向けて、「Daigasグループ環境方針」等の社内規程に則り、環境にかかわる重要事項については「環境部会」「ESG推進委員会」でモニタリングし、「ESG推進会議（経営会議）」にて報告・審議、取締役会に付議しています。

#### テーマ

#### 取り組み事項

#### 具体的な取り組み

#### 環境マネジメント → P.032

#### 環境目標 → P.038

- 環境ガバナンスの強化
- 環境マネジメントシステムの維持・継続
- 環境目標達成に向けたフォロー・意識向上
- 環境コンプライアンスの強化

#### 2023年度実績

- 環境マネジメントシステム(EMS)の継続運用
- バリューチェーンにおける環境影響の把握
- 環境人材の育成 e-ラーニング受講(5,539人)

#### 気候変動対策 → P.040

#### TCFD提言に基づく 情報開示 → P.047

- カーボンニュートラル
- 自らの事業活動でのCO<sub>2</sub>削減
- お客さま先・バリューチェーンのCO<sub>2</sub>削減
- 社会全体へのCO<sub>2</sub>削減貢献

#### マテリアリティ 気候変動

#### 環境目標 マテリアリティに基づくKPI

#### 2023年度実績

グループCO <sub>2</sub> 排出量	2,563万トン	※国内サプライチェーン(スコープ1・2・3)における排出量
再生可能エネルギー電源比率	2,463万トン*	
再生可能エネルギー普及貢献量	22.4%	
CO <sub>2</sub> 排出削減貢献量(2016年度基準)	317万kW	
	501万トン	

- LNG船の効率的な運航、低公害車等の利用拡大
- 天然ガスや高効率・高付加価値の機器普及によるカーボンニュートラル化を推進
- 情報・不動産・材料分野の高品質なソリューション普及による環境価値の提供

## テーマ

## 取り組み事項

## 具体的な取り組み

## 資源循環社会への貢献

→ p.050

- 事業活動での3Rの推進
- バリューチェーンでの3Rの推進
- プラスチック資源循環の活動
- 水リスク対応
- 事業活動における化学物質の管理

## 環境目標

- 大阪ガス(ネットワーク会社、基盤会社含む)①産業廃棄物・一般廃棄物の最終処分率2%以下、②導管工事掘削土最終処分率1%以下、③PE管リサイクル率100%、④ガスメーターリユース率98%以上
- 関係会社①産業廃棄物・一般廃棄物 最終処分率4%以下
- お客さま先や事業活動での使用済み機器等の3Rを推進

## 2023年度実績

- 大阪ガス(ネットワーク会社、基盤会社含む)①産業廃棄物・一般廃棄物の最終処分率1.4%、②導管工事掘削土最終処分率0.1%、③PE管リサイクル率100%、④ガスメーターリユース率99.4%
- 関係会社①産業廃棄物・一般廃棄物の最終処分率3.0%
- 事業所での節水に努め水使用量を削減
- CDPの「気候変動」および「水セキュリティ」に対応

## 生物多様性

→ p.053

- 生態系の保全の取り組みの推進
- 自然資本へのインパクト最小化に向けた取り組み
- TNFD対応準備

## 環境目標

「Daigasグループ生物多様性方針」に基づき、事業活動において生物多様性に配慮する

## 2023年度実績

- バリューチェーンにおける生物多様性への影響の回避と低減への継続的な取り組み
- バラスト水の管理
  - 地域性種苗、希少種の保全
  - 都市開発事業での地域性種苗の活用
  - 非開削工法による掘削土発生の低減
  - 地域やお客さまとの生物多様性啓発活動の実施

## 環境技術開発

→ p.059

- カーボンニュートラルへの貢献
- 未利用エネルギーの活用

## 環境目標

社会のカーボンニュートラル化に貢献し、強靱な事業基盤を支える技術開発を推進する

## 2023年度実績

- メタネーション技術等の開発推進
- 水素・アンモニア燃焼技術等の開発推進
- 放射冷却素材の販売拡大

## グリーン調達・購買

→ p.098

- グリーン調達・購買の推進

## 環境目標

お取引先と連携したグリーン購買やグリーンパートナー制度\*の推進等を行う  
 ※環境マネジメントシステム(EMS)の構築・認証取得など積極的な環境への取り組みを評価する仕組み

## 2023年度実績

- 「グリーンパートナー制度」の登録お取引先は80社